

ワイン産業のいまと未来

ー北海道から世界へー

ぶだんワインを嗜まない人にとっては、北海道がワインの一大産地だということは想像しがたいかも知れません。しかし実際には、国内における北海道のワイン生産量は山梨県、長野県に続く第3位であり、その存在感は山梨や長野にひけをとりにません。

ある程度ワインに詳しい人にとっては、北海道のワインという、ドイツのぶどう品種あるいは、食用のぶどう品種を原料とする白ワインが主流というイメージが強いかもかもしれません。確にかつてはそうでした。

しかし現在、北海道のワインは大きな変貌を遂げました。いまでは、世界のワイン品評会できわめて高い評価を受けるワイン生産者たちが現われ、栽培されるぶどう品種も多様化しています。後志地方や空知地方を中心として、道内のワイナリーやヴィンヤードの数は年々増加中です。加えて、観光を成長戦略の柱のひとつとする北海道にとっては、ワイン×観光、すなわち「ワインツーリズム」の大きな可能性も広がっています。

今回のシンポジウムでは、こうした現状を踏まえて「北海道のワインの未来」について、多角的に検討したいと考えています。シンポジウム後には、ワインの有料試飲会も予定しています。ワインがお好きな方、北海道のワイン産業にご関心のある方、これからワインを楽しみたいと思っていられる方など、多くの皆さまのご参加を心待ちにいたしております。

■ 申込方法

右のQRコード、または下記URLより申込フォームにてお申し込みください。

締切：11月25日（月）

<https://forms.gle/JsviGPiGpp1EtJiX6>



■ お問い合わせ

地域経済経営ネットワーク研究センター

<https://rebn.econ.hokudai.ac.jp/eventinfo>

TEL：011-706-4112

事務局 E-mail：sacade2 (at) econ.hokudai.ac.jp

※迷惑メール防止のため (at) を@に書き換えて送信してください。

日時

2024年

11月30日(土)

14:00～16:10

会場

北海道大学 人文・社会科学
総合教育研究棟W103

プログラム

基調講演

14:10～14:40

曾根 輝雄 北海道大学大学院農学研究院教授

「北海道におけるワイン産業とその支援体制の拡がり」

講演

14:40～15:00

齊藤 啓輔 余市町長

「ワインを核とした地方創生戦略」

15:00～15:20

高橋 克幸 F PLANNING LAB合同会社代表(元富良野ワイン製造課長)

「地球温暖化と今後のワインづくりについて」

パネルディスカッション

15:30～16:10

パネリスト 齊藤啓輔、高橋克幸、曾根輝雄

司会進行 東山 寛 北海道大学大学院農学研究院教授

シンポジウム終了後、希望者は北海道大学ワイン教育研究センター内にて有料テイスティング(1,500円(税込) キャッシュレス決済のみ)ができます。